



一人一人の子どもたちの居場所

校長 徳永 由美子

令和3年5月5日、沖縄とともに梅雨入りが宣言された奄美大島。急に日中の暑さが厳しくなったように感じるのは私だけでしょうか。それでも朝夕は肌寒く、いかにも季節の変わり目。疲れがたまってはいらっしやいませんか。体と心の健康を保つのは、存外難しいものです。

さて、5月14日、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言区域に、北海道、岡山県、広島県が追加され、緊急事態宣言区域は9都道府県に及ぶものになりました。まん延防止等重点措置区域も、10県です。思い返してみると、去年の5月は、2回目の学校の休業がありました。「来年になったら、きっと終息しているはず。」そう思っていました。願っていました。あれから、一年。目には見えない『ウイルス』とたたかうのは容易なことではないのだと、しみじみ思います。多種多様な対策が講じられ、できない我慢もたくさんしてきました。しかし、みんなで心から笑い合うことができるとは言えない状況は変わらず、小学校の修学旅行も中学校の修学旅行も、延期を余儀なくされました。

それでも、久志校には、毎日、子どもたちの笑顔があふれています。がんばる姿があふれています。どうしてそんなことができるのでしょうか。もちろん、子どもたちの力です。では、その力はどうやって育まれたのでしょうか。私は、一人一人の子どもたちの居場所がちゃんとあるからだと思っています。家庭に、学校に、そして地域に。居場所とは、心のよりどころです。どんなことがあっても変わらない、どんなことがあっても受け止めてくれる、心のよりどころです。褒めて、叱って、無条件に愛してくれる場所です。だから、久志っ子は、こんなにもまっすぐ育っているのだと思っています。無限の可能性をもつ子どもたちが、今まで以上に自分を信じ、未来を信じ、努力していけるように…これからも、みんなでいっしょに努力していきたいと思うことでした。

【一人一人が主人公 きらり輝け 久志っ子】

これからも、学校教育への御理解と御支援をよろしくお願いいたします。

家（やー）慣れど 外（すどろ）慣れ

「家でできらんば、外でもできらんのよね！」子どものころよく言われました。箸の持ち方、姿勢…「家でできらんば、外でもできらんのよね！」今も、母の声が聞こえてきそうです。大人になって、もしできていることがあるとしたら、それは母のおかげです。



久志校ホームページ リニューアル4/26



■4月26日（月）、ついに念願の久志小中学校ホームページがリニューアルされました。長い間、更新できない状態にあり困っていましたが、今回、ホームページ更新の突破口を発見し、富士ITソリューションの協力をいただきながら見事リニューアルとなりました。■久志校の校舎の様子や久志校から見えるすばらしい景観などをトップページに配置し、学校沿革史やグラウンドデザイン、いじめ防止基本方針、部活動基本方針などが閲覧できます。是非、アクセスしていただき、いろいろと見ていただけるとうれしいです。また、今回のリニューアルで発行済みの学校だよりのアーカイブスを作成しました。こちらでも楽しく御覧いただけたと思います。■ブログでは、これまで通り、学校行事や子どもたちの活動の様子などを丁寧にお伝えしていきます。ブログの執筆は里見先生を中心に、徳永校長先生や出口教頭先生も投稿しています。毎回、とても温かいコメントや元気の出る写真を掲載し、センスある自慢のブログになっております。これまで久志校の子どもたちと出会った先生や講演会の講師の方々、卒業生の皆様が、ブログにたくさんのコメントを書いてくださっているのもうれしい限りです。このように、たくさんの方々から支えられている久志校のホームページなので、これからも久志校らしいホームページを作成・更新していこうと思います。■令和元年度からは、人権教育の取組として、「ゆらい処」も掲載しています。「ゆらい処」とは島口で「ゆっくり集い寛ぐ場所」という意味です。今年度も掲載していきますので、こちらも併せて御愛読いただけると幸いです。



春の一日遠足4/30



■4月30日（金）、2年ぶりに春の一日遠足に出かけることができました。今回は、住用村のマングローブパークに出かけ、広場で新入生を祝う会をしたり、カヌー体験をしたりして大変盛り上がりしました。■新入生を迎える会では、中学生の植田心大さん、脇田琉輝也さん、福山悠さんが事前に宇検村クイズや陣取りなどのレクリエーションを考えて、進行を務めてくれました。み



みんなで新1年生と楽しい時間を過ごすことができました。さすが久志校の中学生。その企画力と運営力は本当にすばらしいものでした。■昼食では、持ってきた弁当を太陽の下で食べました。愛情たっぷりの弁当に子どもたちは心までいっぱいになったようです。中には、自分で弁当を作ってきた中学生もいました。すごいですね。■カヌー体験では、みんなでマングローブの森を探索しました。慣れないカヌーを操作しながら、大きな魚や小さなカニ、なかなか見ることのできない野鳥などを発見することができ、子どもたちも大喜びでした。世界自然遺産の登録適当の勧告を受けた奄美大島の貴重なエリアであることを肌で感じながら、住用マングローブの森に久志校の子どもたちの笑い声がいつまでもこだまするのですでした。



GW ゴールデンウィーク日記 GW

○ 小2 植田 文大さん

【題 かけろま】

やまとさんたちとかけろまに行きました。あさ、すなはまに行ってウミガメの足あとをはじめて見つけました。ぼくは、「すごい。」といいました。またこんども見つけたいです。

○ 小2 脇田 埜亜さん

【題 えん足】

きょう、えん足に行きました。えん足でカヌーにのりました。田ぶち先生といっしょにのりました。またえん足の時に田ぶち先生とカヌーにのりたいです。

○ 小3 福山 音次朗さん

【題 バドミントン】

今日、ぼくはバドミントンをしました。はやくてきれいなシャトルがとんだのでうれしかったです。つぎは、きれいなシャトルが2回うてるようにしたいです。

○ 小3 保池 洸志さん

【題 ○○○になったらどんなことがしたい?】

ゴリラになったらせかいー高い木を一ばんてっぺんまでのぼりたいです。人げんは、ボルタリングというオリンピックのしゅ目であせをたくさんかくけど、ゴリラもあせをかくのかなとおもいました。



掲示版の撤去



■数年前の台風で破損してしまった正門付近の掲示版。ずっと懸案事項だった掲示版。破損状況が悪化し落下してしまう危険性があったため、今年度、撤去することに決めました。そこで、植田稔さんと保池穂好さん、保池久さんに御協力をいただき、無事、安全に看板を撤去することができました。■雨が降りしきる中でしたが、植田稔さんがパワーショベルで掲示版の基礎部分を掘り起こしてくださいました。しかし、掲示版に付いているコンクリートはかなり重たく、破壊することが困難になりました。そこで、保池穂好さんに助けを求めたところ、早速、保池久さんが大型ユニック車を持ってきてくださいました。この日も雨の降りしきる中でしたが、効率よくあっという間に掲示版を撤去してくださいました。■学校からのお願い事があると、いつも地域の方々が親身になって相談に乗ってください、すぐ駆けつけてくださいます。そして、何より子どもたちのためにと身を粉にして働いてくださいます。そんなボランティア精神の溢れる地域の皆様方に心から感謝申し上げます。今後とも、久志校の発展と未来ある子どもたちのために御理解と御協力をよろしくお願い致します。



6月の行事

2日(水)	第1回村中学校集合学習
7日(月)	防犯教室
10日(水)	中学校地区総体(ソフトテニス) 食に関する授業(小1・2)
11日(金)	水泳教室①
12日(土)	土曜授業日
16日(水)	第1回村小学校集合学習 職場体験学習(中)
17日(木)	水泳教室②
19日(土)	青少年健全育成の日
20日(日)	家庭の日
22日(火)	水泳教室③
23日(水)	期末テスト【~25日】
25日(金)	高校説明会(於:田検中)
28日(月)	歯みがき教室(中)
30日(水)	水泳学習④

